



つぎのいっぽく

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを！

NPOクラブ 2020年度事業計画 (★は新規事業)

NPOの支援事業

- ・千葉県市民活動団体マネジメント事業
- ・NPOの運営相談対応、講座企画、講師派遣
- ・「With コロナ」対応支援、情報提供

広報事業
(ニュースレター発行、ホームページ、ブログ、Facebook、Twitter発信)

災害・被災者支援事業

- ・福島県県外避難者支援・相談事業
- ★千葉県南部災害支援センターを拠点とした南房総地域の復旧・復興活動支援事業

会員・寄付管理
理事会(5回/年)
事務局会議(2回/月)

地域づくりの コーディネート事業

- ・四街道市
地域づくりコーディネーター業務委託事業
- ・多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営
- ★風の村安心システム地域づくり事業
- ★千葉県ボランティア参加促進事業
- ・富里市まちづくりコーディネーター育成事業

組織運営

地域創造ネットワークちば、ちばのWA地域づくり基金、
生活クラブ千葉グループ協議会、千葉県社会福祉協議会、
千葉県、千葉市、松戸市、習志野市、市原市、大網白里市、印西市ほか

他組織、行政との連携・協力

模索→創造へのチャンスと捉え、市民活動の未来につながる実践を

第20回総会は、はじめてオンラインや書面表決を含めた方法での開催となりました。節目の年ではありますが、残念ながらひっそりとした総会になり、今後、あらためて会員の皆様との交流や情報交換の場を計画します。安心して集まれる日が来ることに期待！

年度末からのコロナ禍でほとんどの活動が制限され、自粛生活を余儀なくされ、地域では未だに再開できない活動も多くあります。NPOの活動場面は対面でのコミュニケーションが多く、人と人のつながりを編んでいく側面があります。対面からオンラインに移行可能な活動もあります

が、そうはできない分野もあり工夫を検討するしかありません。オンラインの強み(移動時間、費用の削減)を活かし、慣れていくことは必要です。ただ、対面で顔合わせでの活動にはそれだけで得難い効果もあります。私たちはこんな時代に出会ったことをなにかしらのチャンスと捉え、新しい活動様式を模索し、地域での市民活動が未来につながるように実践していきたいと思っています。

今年度の事業計画は、2019年度から継続している事業と新規3事業を実施します。

中面ではNPOクラブの新しい取組みを紹介します。

千葉県ボランティア参加促進事業

「ちばプロボノチャレンジ2020」が今年も始まります！

—地域活動団体と社会人ボランティア「プロボノチーム」をマッチング。「With コロナ」対応の支援も。

仕事の経験や知識を活かしたボランティア活動「プロボノ」。

昨年度は、高齢者を支える活動をする5団体を、16人の社会人ボランティアが3か月間、チームとなり支援しました。

今年度は支援先団体として、コロナ禍で活動に困難な状況を抱えている団体をはじめ、活動分野を問わず広く募集します。「困った状況に何か手助けしたい」「仕事以外でも充実した時間を持ちたい」といった思いをボランティアで叶えるプロボノワーカーも広く募集します。募集内容など詳しくはNPOクラブホームページをご覧ください。お問い合わせください。

■プロボノを活用したい地域活動団体の募集

【募集期間】2020.7.27(月)～9.10(木)

【募集対象】千葉県内を拠点として公益活動を行う地域活動団体 10団体

【支援内容】オンライン環境整備、広報支援、業務改善、ニーズ調査、資金調達、課題整理など

【応募方法】エントリーフォームよりお申込み後、ヒアリングにご対応頂きます

■プロボノ活動の担い手となる社会人ボランティアの募集

【募集期間】2020.8.17(月)～10.9(金)

【募集対象】社会人としての経験、知識を地域活動に役立てたい人(退職者も含む)50名

【支援期間】11月～2月頃の週3～4時間程度を想定

【応募方法】エントリーフォームよりお申込みのうえ、説明会にご参加ください。

—プロボノワーカー説明会&前年度活動報告会— ※関心のある方は、どうぞ気軽にご参加ください。(要申込み)

●対面説明会 2020.9.13(日) 13:30～15:30 千葉市生涯学習センター 大研修室

●オンライン説明会 2020.10.2(金) 19:00～21:00(Zoomを使用)

【申込み・問合せ】NPOクラブ下記連絡先まで 主催：千葉県



Pro bono

◆四街道市みんなで地域づくりセンター主催

コラポ塾 公開講座 「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」

「With コロナ」の制約のなかで地域活動の場は何をどのように設けられるのか？

活動するうえでの工夫や方法、注意点などお話しいただきます。

【日時】2020.9.3(木) 9:30～12:00

【会場】四街道市文化センター 203 会議室

【講師】川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表 龍谷大学社会学部講師)

【定員】30名程度 参加費無料(要申込み)

【申込み・問合せ】四街道市みんなで地域づくりセンター(日・月・祝日は休館)8/18(火)10:00受付開始

TEL: 043-304-7065 FAX: 043-422-7051 Mail: info@minnade.org



活動のための大切な財源 賛同会費・寄付 ご協力をお願い

自主事業として行っているNPOへの運営相談や情報提供、特に今年度のコロナ禍におけるNPO等へのアンケート実施やNPO支援のための要望書提出、相談対応などの活動は、皆さまからの会費や寄付金で支えられています。千葉県内の市民活動団体を支える活動を、会費や寄付でぜひ支えてください！

年会費 1口 個人会員 5,000円、団体会員 10,000円、寄付 1口 3,000円

(※NPOクラブは認定NPO法人です。賛同会費・寄付が税制優遇の対象になります。)

《編集・発行》 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: http://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npoclub1

Facebook NPOクラブで検索 Twitter NPOクラブで検索

会員・寄付
募集中!

・運営会員 23名 賛同会員 100名 発行 800部 会員・県内市民活動支援センター・自治体等にお届けしています。



「コロナ」禍の中で、 NPOの活動を継続するために

NPO向けの緊急アンケートを実施、千葉県と千葉市に要望書を提出しました

新型コロナウイルス感染症による社会的影響が広がっています。4/7に出された「緊急事態宣言」を受け、多くの団体が活動を休止、縮小する一方で、福祉分野の団体は感染予防に配慮した上での活動の継続を求められ、負担が大きくなっていると思われます。

.....
NPOクラブでは、
県内のNPOの皆さんの声をまとめて、行政に届けること
「Withコロナ」時代での活動について、NPO間の情報交換、課題共有の場の設定
を進めています。

【アンケートの実施と要望書の提出についての報告】

アンケートに回答いただいた団体の皆さま、要望書にご賛同いただいた団体の皆さま、ご協力ありがとうございました！

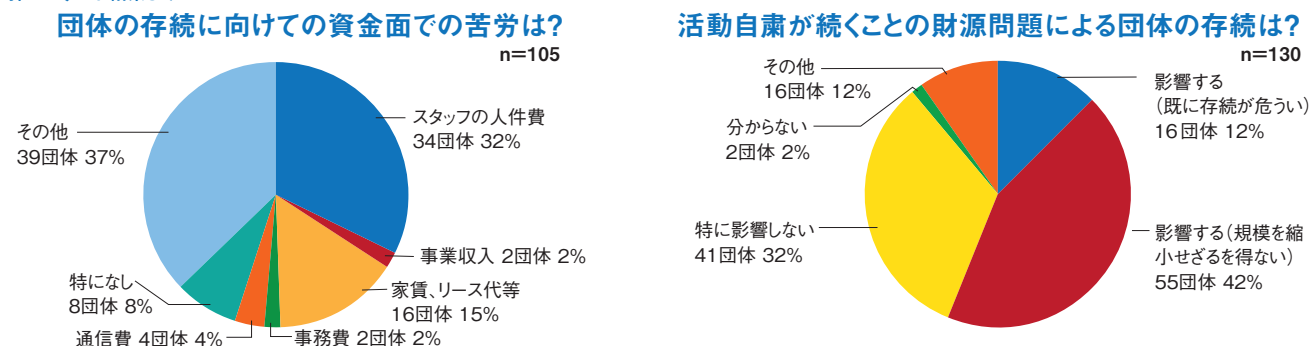
第1弾 「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO法人等緊急アンケート」

〈調査概要〉 回答数：281件 対象：千葉県内NPO法人等及び市民活動団体
対象期間：2020年3月に受けた影響について 調査期間：2020.4.3～4.10
〈結果概要〉 ・現在影響が出ている団体が89.7%、今後影響が出ると思う団体が6.8%

第2弾 「新型コロナウイルス感染症対策に係るNPO等支援のための緊急アンケート」

〈調査概要〉 回答数：130件 対象：千葉県内NPO法人等及び市民活動団体
対象期間：2020年3月～4月に受けた影響について 調査期間：2020.5.22～5.28
〈結果概要〉 ・回答団体の89%が活動に影響を受け、68%が減収となっている。
・減収割合が50%以上の団体が46%と多くの団体が大きく減収している。
・団体の存続に向けての資金面での苦労として、32%がスタッフの人件費、15%が家賃等の確保をあげている。
・活動自粛が続くことにより50%以上の団体が規模を縮小または存続が危うい状況

第2弾アンケート結果より



アンケート結果をもとに、4月と5月に千葉県、千葉市にNPO支援のための施策の実施を求める要望書を提出しました。この要望を受けて6月22日から「千葉県中小企業再建支援金」の対象に、NPO法人や医療法人、社会福祉法人等が加えられました。今後も、「千葉県新型コロナ対応県民活動支援金(仮称)」の創設や、NPO相談窓口の設置等を、県や市に求めていきたいと思ひます。また、NPOへの支援情報などの発信を続けます。

「千葉県中小企業再建支援金」の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上高が前年同月(令和2年1月から令和2年7月の内、任意のひと月)と比較して50%以上減少している法人では賃借している事業所がない場合20万円、1事業所を賃借している場合30万円、複数の事業所を賃借している場合40万円が支給されます。

●8/31が受付バ切です。「売上」には、事業収入とあわせて会費も含まれます。対象となる団体は、ぜひ申請ください。

千葉南部災害支援センターを拠点とした 南房総地域の復旧・復興活動支援事業について

全国各地で、梅雨末期の豪雨による被害が拡大しています。寄付された方も多いのではないのでしょうか。被災地の復旧・復興活動にどう関われるか。昨年9月、千葉県は台風の直撃を受け、南部を中心に多くの家屋が損壊しました(全壊311棟、半壊3,594棟、一部損壊59,616棟)。

これまで、これだけの家屋が損壊した例はなく、今なお、多くの人たちがブルーシートがかかった屋根の下で暮らしています。NPOクラブでは、NPO法人ディープデモクラシー・センターや災害対応NPO2団体とともに、昨年11月に「千葉南部災害支援センター」(現地拠点は鴨川市旧大山小学校内)を設立。復旧・復興に向けた事業を継続しています。



南房総市
(昨年12月撮影)

2020年度は「Yahoo!基金 被災地復興助成」を受けて、事業を実施します。

○行政や社会福祉協議会等へのヒアリング

発災後から現在までの間での、住民を対象にした調査の内容について、復旧、復興にかかわる今後の施策、事業について、防災対応(新たな災害への備え)について6、7月に鋸南町、館山市、南房総市、鴨川市、富津市の災害対応担当課と社会福祉協議会にヒアリングしました。

- ・災害ボランティアセンターを閉じた後も、被災者ニーズ対応を継続。県内でのブルーシート展張や屋内のカビの除去作業等のためのボランティアをコーディネートしている社協もあるが、マンパワーの確保ができず、対応休止状態の社協もある。
- ・コロナウイルス感染症拡大予防のために、県外からの支援が受けづらい状況の中、ブルーシート展張等のスキルを持った人材育成が急務となっている。
- ・次の発災に備えて、地域防災計画の見直しや災害ボランティアセンターの立ち上げに向けてのシュミレーションを行っている自治体と、不安を抱えつつ手が付けられない自治体と一様でない。

「災害ボランティアセンター」の運営は、社協任せではなく、行政やNPOとの連携のもとに進めることが必要。

NPOクラブでは、次の災害に備えて、県内NPO等のネットワークづくりを進めます。

○被害の大きかったエリア2～3ヵ所の住民へのヒアリングの実施

8、9月に、現在の暮らしの状況、困りごとや必要な支援について、地元社協の協力を得て、住民ヒアリングを実施します。

ヒアリングの結果を受けて、ボランティア人材育成プログラムをNPO法人ディープデモクラシー・センターと一緒に実施します。

本プログラムの概要については、ホームページ等でも公開しますが、関心のある方は、ぜひ、お問合せください。



県外の技術系NPOを講師としたブルーシート展張講習会